



2018年(平成30年)6月30日

発行：東京都立大学 附属高等学校同窓会 〒152-0023 東京都目黒区八雲 1-1-2 桜修館中等教育学校内 編集：同窓会報編集委員会

# 10月21日(日)、お待ちしております 同窓会の定期総会を開催します

来る10月21日(日)に、

3年に1度の同窓会定期総会を開催します。会員の皆さんから多くのご意見をいただいて、今後の同窓会運営に反映したいと考えています。

多数の会員の方のご出席をお待ちしております。

日時：10月21日(日)14時～

(受付13時30分)

会場：桜修館中等教育学校

2階「多目的ホール」

## 総会出席の申し込み

総会に出席される方は、同封のはがきに住所、卒業期、氏名などを記入の上、10月1日までに返送ください。切手は不要です。

### 議事予定

- 一、3年間の活動報告
  - 記念祭への出席
  - 第3～5回八雲が丘賞
  - 桜修館創立10周年記念ホームカミングデー
  - 八雲が丘学友会
  - 学生歌、寮歌などの保存
  - 同窓会員の名簿の管理
- 二、会計報告と財政状況
  - 会計決算報告、
  - 同窓会の収支状況報告
- 三、今後の活動方針
  - 新しい事業の展開
  - ホームページの拡充
- 四、その他
  - 会員の皆さんからの質問、
  - 問題提起やアイデアの提供

## 永続する活動と体制を

理事長 戸戸 迪武

早いもので、前回の総会から3年が経ちました。この3年間に同窓会として取り組んだ活動について、少し振り返ってみます。

2015年11月に第1回「八雲が丘ホームカミングデー」を開催しました。卒業後50年、25年を迎えた同窓生に、八雲が丘に帰って

### INDEX

定期総会開催のお知らせ	1
ホームカミングデー特集	2・3
「着任のご挨拶」「講演会」	4
第5回「八雲が丘賞」は科学部	5
第69回記念祭報告	6・7
「校風とは」「里山のまりな」	8
寄稿「府立学生歌をCD化」他	9
同期会・クラス会レポート	10
事務局インフォメーション	11
会費納入のお願い、訃報	12

など大いに歓迎します。

1991年の都立大学の八王子移転以来、跡地が目黒区民キャンパスとなり、2006年の都立桜修館中等教育学校開校などで、八雲が丘は大きく様変わりしています。なかなか訪れるチャンスもないと思いますが、この機会に是非おいでください。桜修館の正門は、かつての正門とほぼ同じ位置です。

贈る賞として定着してきています。

旧制府立高、都大附高、桜修館の3校の同窓会連合として「八雲が丘学友会」の活動があります。旧制以来の文物の整理・保管の他、桜修館創立10周年記念には、校舎外壁にフロンズの校章を取り付け寄贈しました。

また旧制府立高および都大附高の学生歌、寮歌、記念祭歌の保存・継承のため「伴奏譜」を制作しました。

回数数を都大附高から引き継ぎ、今年70回を数える記念祭には、毎年「八雲が丘の集い」という同窓会ルームを出展しています。写真や資料の展示、学生歌、記念祭歌などを歌うイベントを継続しています。

同窓生による講演会は昨年2回行われました。今後継続的に「ようこそ先輩(NHK)」のような形で開催できればと考えています。

都大附高同窓会の活動は、①会員相互の親睦を深める、②旧制府立高以来の伝統を受け継ぎ引き継いでいく、③桜修館の発展に資する、の三つが柱です。この三つをバランスよく展開し、都大附高同窓会とはどんな活動をしている組織なのか、分かりやすく示すことができよう努力したいと思っています。

活動の内容にご理解をいただき、永続する体制をつくるため今後ともご協力いただければ幸いです。



# 特別版 「八雲が丘ホームカミングデー」

2017年度は「八雲が丘ホームカミングデー」が2回開催されました。1回目は昨年11月29日の「特別版」、2回目が今年1月28日の「第3回」です。このホームカミングデー企画は、都大附高同窓会と桜修館同窓会の共催で、卒業から50年と25年の都大附高同窓生と卒業4年目の桜修館同窓生を対象としてスタートしました。そのため、卒業から51年以上経過した第1期から14期までの同窓生は対象から外れたまま



90歳から76歳までの意気軒昂なOBOGが大集合です

特別版ホームカミングデーは、11月29日（水）に開催。旧制府立高OB3人を含む都大附高9期までの40人余りが参加しました。午前11時30分に受付開始、11時過ぎにパーシモンホール小ホールでの歓迎式典が始まりました。校歌斉唱に続いて同窓会理事長が歓迎の挨拶。桜修館の金田校長先生が、桜修館の現況説明を交えて歓迎の言葉を述べられ、桜修館PTA会長からは



プロジェクターで歌詞を映し出し、久しぶりに「八雲が丘に集いけり」と校歌を歌いました



17期・佐藤文行氏(二期会会員)の指揮、西津啓子さんのピアノ伴奏で学生歌、寮歌を合唱

歓迎メッセージが寄せられました。アトラクションは4期の田中誠一郎氏制作のスライドショー。「記念祭、旅行、学校生活」の3部作で、1950年代初め頃の「都立」の様子が生き生きと映し出されました。またプロの西津啓子さんのピアノ伴奏付きで学生歌、記念祭歌、寮歌を歌いました。伴奏譜は先ごろ同窓会が制作したものです。記念式典の後、副校長先生の案内



旧木造校舎(1974年取り壊し)の玄関前あたりが今は中庭になっています

で桜修館校内見学。校内見学に行かなかった10数人は西津さんのミニピアノコンサートを楽しまました。午後2時からは、場所をパーシモンホール1階のレストラン「YAKUMON OI」に移して懇親会が開かれました。最年長の旧制府立高1947年卒・遠藤榮一氏の音頭で乾杯。その後は各年代入り乱れての歓談、あっとい間くに2時間は過ぎていきました。



懇親会場が少々狭かったのですが、まさに「元気なお年寄り」の見本のような集まりでした



パネルに飾られた古い写真に見入り、久しぶりの再会に話が弾み、これぞホームカミングデーです

# 第3回「八雲が丘ホームカミングデー」



八雲が丘を1967年(昭和42年)に卒業した第17期生です

になっていました。そこで今回、第9期までの皆さんを「特別版」にお招きすることになったのです。  
10期から14期の皆さんは改めて次の「特別版」にお招きすることになります。大きく様変わりしていても、八雲が丘は八雲が丘。大学校舎の跡にできた「めぐろパーシモンホール」に集まった同窓生は、ひと時、昔に帰って楽しみました。



第42期生は、E組担任だった小山利一先生と記念撮影



まだ大学生が多い桜修館第3期生の皆さん。

今年1月28日(日)、第3回「八雲が丘ホームカミングデー」が、めぐろパーシモンホール小ホールで開催されました。今回の参加は、都大附高第17期、第42期、そして桜修館第3期の皆さんです。  
初めて午後の開会となった歓迎式典は午後2時開会。まずスクリーンにDVDの映像を映しながら校歌斉唱。続いて同窓会理事長の挨拶、桜修館金田校長先生の歓迎の辞、そして桜修館P



(上)桜修館の校内見学では、時代の移り変わりを実感  
(左)記念式典のスライドショー

TA塩田会長の挨拶と続きました。  
アトラクションは17期・佐藤憲三氏の説明で「思い出の映像1989/お父さん母校を訪ねる」スライドショー。ユニークな趣向の懐かしい映像に15分はあっという間でした。  
歓迎式典が終わると、2班に分かれて桜修館校内見学。校長、副校長先生に率いられて校内を見て回りました。パソコンの並んだ部屋など、かつてとは違う学校の設備や体制を垣間見ること



学生歌や記念祭歌を歌ううちに昔がよみがえり、最後は肩を組んでの大合唱に

とができました。  
校内見学中に幹事団は小ホール内を懇親会仕様に模様替え。午後3時半過ぎから懇親会が始まりました。  
世話役の挨拶と乾杯に続きしばらくは歓談の時間です。途中で17期、42期、桜修館3期それぞれの代表の挨拶があり、さらに一大イベントの写真撮影を行いました。最後は〈学生歌を歌おう〉の時間、「いざ友」「青春といふ」「古きいらか」を全員で歌いました。

# 着任のごあいさつ

都立桜修館中等教育学校長  
鳥屋尾 史郎



都立大学附属高等学校同窓会の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。今年4月に金田喜明校長の後任として着任した鳥屋尾（とやお）史郎と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

着任して分かったことは、学校のいたるところに都立大附属高等学校の精神が引き継がれているということです。私は4月中に6年生を対象とした面談を実施いたしました。6年生からは3日間のクラスマッチや記念祭、合唱コンクールがいかにか自分たちを成長させてくれたかという話や、幹部制度によってさらに新しい発想やアイデアが生きて、「自由と自治」が生きて

いる学校だという話がありました。また、都大附の生徒と一緒に学校生活を送ったときの話を入学時に先輩から聞いたことを、強烈な印象として覚えている生徒も多数いることも分かりました。都大附からの脈々とした流れの中に桜修館の生徒たちはいて、その精神を受け継ぎながら学校生活を送っている、そんなことを感じながら毎日を通じて

います。

さて、今年度最初の同窓会誌でありますので、今年卒業した7期生の進路についてもお知らせしたいと思います。東大合格は5名、東工大合格2名、一橋大合格3名、国立大医学部合格1名で、いわゆる難関国立大学合格は11名でした。国立大学合格者は合計42名、難関私立大学（早慶上智東京理科）合格者は77名、GMARCH合格者は106名でしたので、例年同様の

合格者を出すことができました。

一昨年度末には中学校の新学期指導要領、昨年度末には高等学校の新学期指導要領が発表され、教育課程の改訂期を迎えます。都大附から引き継いだ精神や、これまでの成果を継承できるような教育課程の在り方を検討していかなければならないと考えます。他の中高一貫教育校と一線を画す特色ある教育活動はしっかりと継続していくことも大切ですが、こうしたことを踏まえながら、新校長として今年度をがんばっていきたく考えますので、皆様の御理解と御協力をますますごうかよろしくお願いいたします。

結びに、都立大学附属高等学校同窓会のますますの御発展と、会員の皆様の御健康・御活躍を心よりお祈り申し上げ、着任のごあいさつとさせていただきます。

# 口演会「伝統って何だ？」

吉松安弘・2期

東横線を「柿の木坂」の駅で降り、田圃のなかの泥んこ道を北に登ると、眺望が開け、野菜畑に竹藪、そして武蔵野らしい樺の防風林が並ぶ。西には丹沢連峰と富士山が間近だ。八雲が丘である。

昭和7年、この地に、大講堂や体育館、図書館を従え天文台のドームをランドマークとした三階建ての校舎が建てられた。

それが当時、東京府立として唯一の高等学校、それ故に普通名詞を強引に固有名詞と言いつける「府立高校」であり、「東洋のイートン」をめざす中高一貫の7年制

高等学校だった。

それ以来、時代が変わり、社会が変わるとともに、府立高校は都立高校に、都立大学と附属高校に、そして今、中高一貫の桜修館中等教育学校へと変遷したが、このキャンパスにはいつの時代にも、人生の、自然の、社会の「本質」を学ぼうとする若者が集い、開校以来の伝統を「真理の探究」と呼んで、日々を闘ってきたのだった。

人も、キャンパスも、歴史の中で育まれ、悩み、喜び、成長してゆく。あの敗戦の年の秋、2年振りに開かれた記念祭の歌を、あの祭りの日の生徒たちの想いを、桜修館の君は、学んだらうか？

へ闇の夜に再びは、篝火の燃え盛る

同じ秋、都立高生のために訳され、我々の学生歌として繰り返し歌われた歌を、桜修館の君は心得ているだらうか？

へ挙げよ杯、若き日のために

創立から90年、私は、八雲のキャンパスに展開されてきた歓喜と苦悩を、現在ここで学ぶ若者たちに共有してもらいたく、桜修館の先生や同窓会の協力を得て、昨夏、土曜の午後に講演会を行なった。

私のイメージに浮かんでいたのは「チップス先生さようなら」。退職した老教授が、新入生をお茶に呼んで、学校の昔話を聞かせるイギリスの中高一貫校の話だ。

私は、都立高に遺された沢山の寮歌も知ってもらいたく、歌入りの講演、いわば口演を目指した。そう、これが毎年の恒例行事となれば嬉しいのだが、さて？

キャンパスの歴史に興味のある同窓生は私の本を読んで下さるよう。

『旧制高等学校生の青春彷徨（旧制府立（都立）高校の昭和時代』彩流社刊

# 第5回「八雲が丘賞」は科学部が受賞

第5回「八雲が丘賞」は、桜修館・科学部が受賞しました。表彰式は昨年9月11日の記念祭閉会式の中で行われ、都大附高同窓会から

表彰状と記念品代10万円が、科学部の皆さんに贈られました。

この賞は、桜修館の生徒の優秀な部活動や課外活動



に対して、同じ八雲が丘で学んだ都大附高同窓会から贈られるものです。これまでの4回は、日本文化部茶道部門、フィールドワーク部、写真部、美術部の皆さんが受賞しています。

## 生物部の伝統と多彩な活動

科学部は昨年4月に「生



物部」の名称を改め、「科学部」として新しくスタートしました。生物だけでなく科学全般にわたる研究活動を行うための名称変更です。つまり新しいけれど歴史のある部なのです。

部員の数は多いわけではありませんが、実に多彩な活動を行っています。生物の飼育・観察と科学実験が2本の柱ですが、昨年度は特に「ビオトープの整備」が特筆されます。

ビオトープとは、生物の生息空間を示すドイツ語です。ある生物群が安定的に生息することのできる地理的な単位を意味し、生態系の構成要素ということもできます。

このビオトープを、自然生態系の観察モデルとして整備したのが、「桜修館ビオトープ」です。しっかりとした人工池に水草などを植え、メダカ、金魚を放流。周囲にはハープなどの植物を植えてあります。(写真)時が経つうちに、自然観察記録の厚みを増してくれることでしょう。

また、こうした部の研究活動の中から、目に見える多数の成果も生まれています。科学の甲子園東京大会、化学オリンピック国内予選などで好成績をあげています。八雲が丘賞受賞後には、東京都高等学校理科研究発表会化学部門で優秀賞を獲得

## 八雲が丘賞

東京都立桜修館中等教育学校 科学部の皆さん

皆さんは昨年度、生物部の活動として生物の飼育、観察や科学実験に着実な成果を残されました。特に自然生態系の観察モデルとして校内に整備したビオトープは特筆されます。また、科学の甲子園、化学グランプリに参加して好成績を収められました。歴史ある生物部の伝統を引き継いだ科学部の皆さんの真摯な活動に心から敬意を表し理数研究校に指定された桜修館の中核として大きく飛躍されるよう期待を込め、ここに第5回「八雲が丘賞」を贈ります。

2017年9月11日

東京都立大学附属高等学校同窓会 理事長 宍戸 迪武

は、サツマイモやカボチャ、スイカ、ブルーベリー、スイートバジルなど10種類以上の植物を栽培しています。科学実験では、温度応答性高分子の作成と機能評価、コバルトイオンの触媒特性研究、レバーを用いたルミノール発光など、ユニークな実験を展開しました。

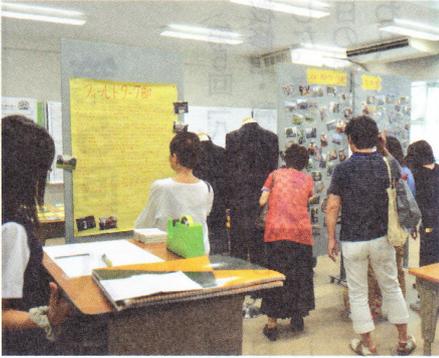
得し、全国大会の東京代表に選ばれた部員も出ました。こうしたことから、都立高校13校の生物部交流会でも「桜修館科学部」は存在感を増しつつあります。

**生物研究の伝統 八雲が丘に両校の絆**

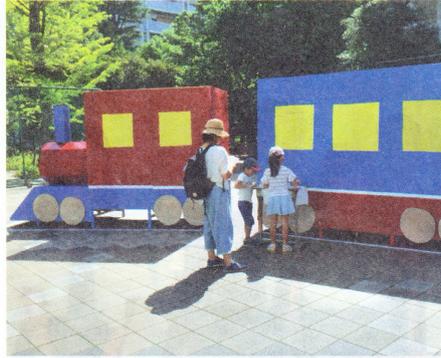
八雲が丘には生物研究の伝統があります。1949年から1985年まで都大附高の理科・生物の教諭を務められた斎正子先生の指導を受けた「生物部」の生徒たちは、今も「ミジンコ会」というOBOG会に集っています。桜修館の科学部員との交流ができたら、これもまた両校の絆を確かめるいい機会になるのではないのでしょうか。

## 部活動の中から多くの成果が

また、こうした部の研究活動の中から、目に見える多数の成果も生まれています。科学の甲子園東京大会、化学オリンピック国内予選などで好成績をあげています。八雲が丘賞受賞後には、東京都高等学校理科研究発表会化学部門で優秀賞を獲得



フィールドワーク部の展示



申し訳ございませんがご乗車できません



いよいよ 開門となりました



100円ショップ?!



6年B組劇 亀は意外と速く泳ぐ



タテ看板が並ぶTポイント前へ

# 第69回記念祭報告

昨年9月  
9日・10日  
の両日、  
第69回を  
数える記  
念祭が行わ  
れました。

天候にも恵まれ、早くから大勢の  
親子連れが記帳を済ませキャンパス  
に散って行きました。

例年のことながら、同窓会として  
B棟201教室にて写真パネルをは  
じめさまざまな展示物、更に終日に



テーマ：飛び込め！  
誰にも片付けられない  
2日限りのおもちゃ箱



図書館は目を見張るばかりの充実ぶり



創作部 こってこ展



ホームカミングデー打ち合わせのお流れで  
一時大混雑となった同窓会ルーム



金田校長、お疲れ様でした



吹奏アンサンブル



裏方はいつでも臨戦態勢



第70回もこの看板を見たら、B棟2階へ



パーシモン側の看板



ときには訪ねよう! 閉校記念碑



記念祭閉祭式

およぶDVD放映などを行いました。さらに翌10日13時には2階コンコースに太鼓やプロシエクターを運び、旧制同窓会、新制同窓会、桜修館PTA有志による「校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌」の斉唱が行われました。後日談として、厄介な問題が顕在化してきました。巷で言う後継者問題です。

同窓会ルームを訪れた若者に学生歌等の感想を聞いても反応を示す子は稀です。

伝承を歌い継ぐ筈の後継者が…

旧制の同窓会一土会から託された70周年記念CDのストックも若干あり、これまで以上の配布を行います。皆様のご意見、グッドアイデアなどを同窓会ホームページまでお寄せください。



# 「校風」とは？

三ツ谷 洋子・16期

私が卒業した「都立大学附属高校」が中高一貫の「都立桜修館中等教育学校」になったことは、法政大学教授として1年生のクラスを担当した時に、学生から聞きました。それから4年後の2017年10月16日、同窓会の推薦で講演をすることになりました。

「私でいいのか」というのが正直な気持ちでした。特に成績優秀でもなかったからです。聴衆が中高生、内容は卒業生である自分自身



についても戸惑いました。これにも大いに戸惑いました。

私は慶應義塾大学卒業後、スポーツビジネスの仕事をしてきました。21世紀まであと10年という頃、通商産業省（現経済産業省）が研究会を組織することになりました。私が唯一の女性委員として参加したことが、日本のスポーツ産業に深く関わるキッカケになり、行政の人脈もできました。

その後、サッカー・リーグ（現公益社団法人日本プロサッカーリーグ）の創設にかかわり、初の女性理事就任につながりました。仕事では何度も講演したことがあります。今回は聴衆も内容も全く異なります。

ということで、使用するパワーポイントの作成には、通常の何倍もの手間と時間がかかりました。四苦八苦して準備し、ようやく講演当日を迎えましたが、会場入りの際もトラブルがあり、

ギリギリでの滑り込みセーフでした。

すでに壇上にはスクリーンやパソコンが設置され、板張りの床には900人ほどの中高生が行儀よく座って待っていました。慌ただしく始まった講演会はみな静かで、最後には質問までしてくれました。あの大人

数の中で拳手した勇氣に、心の中で拍手を送りました。とはいえ、前年のホームカミングデーでも感じたことですが、生徒たちは良い子ばかりのように見え、「こ

れでよいのか」と少し不安にもなりました。学校を管理する面からは楽なのかも知れませんが、半世紀前の私たち高校生は、かなりいい加減で自由でもあったように思います。

大学生の若いOBに聞く「それなりに自由にやっていますよ」という返事です。これを「社会の変化や時代の違い」として片付ける風潮を見ると、どうしても賛同できません。人生を振り返る年齢になっても、私は昔の私のままです。

「子」性に思いのほか足を取られる苦痛に満ちたものとなりました。しかし持ち前の楽天性を失わずそうした状況にもめげなかった彼女は、『生物の複雑さを読む』や『細胞の意思』など、「生命を運ぶのはDNAではなく細胞である」との信念に基づいていくつかの著作を刊行し、「生命の複雑さ」を階層性という立場から読み解くという誰もなしえなかった新しい見地を開拓し、世に問い続けたのでした。

## 寄稿

里山のまりな 惣川 徹・9期

私は都立第9期生の惣川徹です。同期だった団まりなど25歳の時に結婚し、以後半世紀近く人生を共に過ごしましたが、細胞生物学

者であったまりなは4年前73歳の時に事故死いたしました。母親がアメリカ人だった彼女の生涯はその育ちの「合



ところから上梓いたしました。無念な最期を遂げたその魂をなんとか救済したいとの思いだけに支えられて書き上げたものです。拙文拙作ながら皆様のご高覧に与れば幸いです。

# 放研の集い 2018

今年も「お花見会」開催しました。今年は、桜の開花が例年より早く、時期を合わせるのに苦労しました。図らずも、近くにある船宿の方が、区立の体育館仲間なので相談して、3月30日（金）に決めました！今回は、超大型の船だったので、少しの横揺れもなく快適で、両岸の満開の桜を眺めながら、揚げたての天ぷらを含む昼食を、楽しみました

放研OBとOG（配偶者）を含む11名の方が参加なさった、春の一日でした。（8期 本橋紀子・記）



寄稿

府立高等学校学生歌のLPレコードをCD化

舟橋一郎・7期

先般都立大附属高校、学生歌・寮歌等のDVDが制作され御覧になった方も多

についてお話ししますと、私は在校中放送研究会に属し校内のレコードコンサート

内容は、校歌、学生歌(嗚呼烈誠、青春といふ)、追遥歌(八雲が丘)、記念寮歌(見よよローマ、爽快かな、眼

それ以来音楽を中心にお付き合いをさせて戴き、60年の長きにわたり薫陶を受け

(陽炎もゆる、紫の、春残更)、文甲歌、文乙歌、理乙歌の全14曲です

私の手元にあります。その後、伊藤先輩との約

私がこのレコードを見つけたのは、数年前、府立高校昭和24年頃卒業の伊藤常信先輩宅のレコード棚でし

束をはたすべく、CD化に取り組みました。10年前にもLPのCD化はしており

私がCD化するから貸して欲しいとごっつお預かりしました。

結果、世界最高級音質の自作オーディオアンプで聞き比べても遜色ないものが出来ました。ただし、も



結果、世界最高級音質の自作オーディオアンプで聞き比べても遜色ないものが出来ました。ただし、も

になっています。

尚、このレコードが制作された経過やどんな方々が有志として歌われたのか分

昨年八雲が丘ホームカミングデーにCD10枚を持参して一部の方にお配りし

ニュース

祝・喜寿の大学卒業生



9期生吉井勝君は、4年前一念発起、勤めていた会社を退職して国立の弘前大

この間、好きな酒も麻雀も一切断って勉学に集中、休暇中に都立の悪友が酒を

越えた友情が育まれました。地元紙に、70歳代にして向学心に燃える弘大生として

最終学年の卒業研究には、「異種金属界面における接触熱抵抗の評価」という難しいテーマを扱ひ、50歳年下の指導教官の助教の部屋に



同期生との卒業祝賀会。前列中央が本人

(9期 朱牟田静雄・記)

# 同期会・クラス会レポート

## 第6期同期会

日時：2018年4月18日

会場：新宿ライオン会館

参加者：32名

6期生にとって今回は、無事に八十を越えたことを喜ぶ会であった。

有志からの近況報告と音楽はいつもの通り。武市君のヴァイオリンと佐藤さんの独唱は、毎回みんなを楽しませてくれる。

6期の同期会は平成8年、還暦を前にして第1回を開催した。始めるのは遅かったが、その後年一回のペースを守り開催してきた。参加者が最も多かったのが第1回の67名で、最近では30数名の参加者となっている。

同期会について、80歳を越えた平成29年で幕を降ろそうという話が出ていた。しかし、ぜひ継続して欲しいという声も多く、当分の間従来通り毎年開催することになった。

変わる点は第1回から幹事長を務めていた戸井君が退任し、片岡君が就任したことである。同期会が継続して開催できたのは戸井君の力が大きく、交代に際し参加者から盛大な拍手が送られた。新しい幹事も加わり、来年、再来年(新しい年号になっている)も同期会は続くだろう。多くの6期生の出席を望みたい。  
(金子順治・記)

## 第13期同期会

日時：2017年10月21日

会場：めぐるパーシモンホール

YAKUMO111

参加者：約50名

昨年、記念祭の季節に13期同期会を開催。年々参加者が減少している中、今回52名の参加希望があったのは会場が八雲が丘ということが理由でしょう。もっとも、そこにはかつての「都立」を懐かしむようなものは痕跡すら残っていないのですが。



なにしろあれから半世紀を過ぎたのですから、連絡もなく欠席した人の中には単なる失念というより、あの深刻な理由があるのでは。また出欠の連絡さえない人も少なからずいるのですが、

これはあの頃が誰にとっても黄金時代というわけではないということでしょう。ともあれ八雲が丘に集いし者は思ひ出話に盛り上がり、酒を煙草を楽しみ(素晴らしいことにテラス席が喫煙出来る個人の感想です)2時間半は矢の如く、また来いや年に2回開催してもいいかなど。なにしろ我等にはたっぷり時間がある(ように思える)のだから。

(D組 田中賢一・記)

## 第26期合同クラス会

日時：2018年2月24日

会場：シユピア赤坂

参加者：約70名

卒業して42年、初めて6クラス約70名が2月24日シユピア赤坂に会しました。開始早々、居心地悪げのおじさんやおばさんたちでしたが、卒業アルバムをベースにしたオープニング動画が上映されると、一気に42年の時を遡ってやんちゃで英気あふれる都立大附属高校生の顔に戻っていました。

来賓の西島允先生、久野猛先生、加

藤良雄先生からは昔と相変わらぬ暖かいお言葉を戴き一同感激。クラス写真では、赤いちゃんちゃんこを着て還暦記念撮影。卒業してからの歳月を改めて実感しました。

今回、多系統萎縮症を患っている上野君が、クラスメートで奥様でもある名古屋さんのエスコートを受けて参加されました。開催後、名古屋さんからは「みなさんと同時に大爆笑している写真や、まだまだ若い女子に囲まれている写真を見て、いつもとは違う話で盛り上がり、上野くんは同窓会の後も大いに楽しめたようです」と感想を伺い、2年後の開催を決意するのでした。

(嶋津和行・記)



## 事務局インフォメーション

## ● 2017年度事業報告

2017年度の会報は6月30日に発行し、例年同様9,000部を印刷、住所判明会員のほか、桜修館の教職員、PTA、桜修館同窓会役員などに配布しました。

第69回記念祭では、同窓会ルーム「八雲が丘の集い」を出展し、合唱イベント「校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌を歌おう」を実施しました。第5回「八雲が丘賞」には生物部から名称を変更した科学部を選出、記念祭の閉祭式で賞状、記念品代を授与しました。桜修館現役生に対する同窓生による講演会は2回開催しました。八雲が丘学友会は年4回の会合を継続し、学友会事業として旧制府立高の学生歌、寮歌、記念祭歌の伴奏譜を制作しました。

ホームカミングデーは年度内に2回開催。旧制府立高から都大附高第9期までを対象とする「特別版」を11月に、17期と42期および桜修館3期を対象とする「第3回」を1月に実施しました。第10期から14期までを対象とする「特別版」の2回目も追って開催する計画です。

## ● 2017年度決算報告

前年度に引き続き赤字幅を圧縮することができました。前年より170人ほど多い会員から会費を納入していただいたことが要因です。会報の発行、発送費が180万円強と支出の7割以上を占めている状況は変わりません。ホームカミングデー経費は、2回開催したことで予算よりかなりオーバーしました。今後さらに幅広い活動を展開するためには、会費収入を金額で70万円程度、会員数で350人ほどのプラスが必要と考えています。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

## ● 2017年度中の会議ほか

2017年	5月22日	2016年度会計監査
	5月27日	八雲が丘学友会第29回会議
	6月24日	吉松氏(2期)による講演会
	7月2日	2017年度上期「理事・監事・評議員会議」
	9月9、10日	第69回記念祭「八雲が丘の集い」出展
	9月12日	第5回「八雲が丘賞」表彰式
	9月16日	八雲が丘学友会第30回会議
	10月16日	三ツ谷氏(16期)による講演会
	11月29日	特別ホームカミングデー
2018年	12月9日	八雲が丘学友会第31回会議
	1月28日	第3回ホームカミングデー
	2月4日	2017年度下期「理事・監事・評議員会議」
	2月17日	八雲が丘学友会第32回会議
	3月15日	拡大会報編集委員会

## ● 2018年度役員

理事長	宍戸 迪武 (13期)
常務理事・会報編集委員長	須田 大春 (8期)
常務理事・事業担当	佐々木浩二 (15期)
常務理事・ホームページ担当	嶋津 和行 (26期)

常務理事・名簿管理担当	石川 恵子 (35期)
常務理事・会計担当	下村 聡美 (43期)
監事	篠原 利憲 (11期)

【表Ⅰ】2017年度貸借対照表(財産目録)  
2018年3月31日現在

科目・摘要	金額(単位:円)
1. 資産の部	
現金及び預金	
現金	52,920
みずほ銀行普通預金	1,086,813
みずほ銀行定期預金	5,005,394
ゆうちょ銀行当座預金	3,120,222
ジャパンネット銀行普通預金	2,165,452
現金及び預金 計	11,430,801
資産 計	11,430,801
2. 負債の部	
未払金(理事長立替未払金)	26,026
負債 計	26,026
3. 正味財産の部	
前期繰越正味財産	11,550,721
当期正味財産増減額	-145,946
正味財産計	11,404,775
負債・正味財産計	11,430,801

【表Ⅱ】2017年度正味財産増減計算書  
2017年4月1日～2018年3月31日

科目・摘要	金額(単位:円)
I. 経常収益	
1. 受取会費	2,352,000
2. DVD等販売収入	5,206
2. 利息収益	420
経常収益計	2,357,626
II. 経常費用	
1. 会報費	
会報原稿作成費	121,493
会報印刷製本料	784,010
会報通信運搬費	910,991
会報費計	1,816,494
2. ホームカミングデー費	
懇親会費収入	-628,000
懇親会費支出	625,414
案内送付先作成送付費用	92,528
会場等賃借料	183,750
ホームカミングデー費計	273,692
3. 記念祭費	
通信運搬費	-
雑費(表彰金等)	139,478
記念祭費計	139,478
4. 経常管理費	
通信運搬費	23,990
支払手数料	118,426
会議費交際費	86,733
消耗品費	10,483
雑費	34,276
経常管理費計	273,908
経常費用計	2,503,572
当期正味財産増減額(経常損益)	-145,946

監査報告:

財務諸表、帳簿、証憑等を精査し、上記決算書に誤りがないことを確認します。

2018年5月19日

監事

篠原 利憲



事務局インフォメーション

年会費2000円 納入のお願い

現在の同窓会の財政状況は、11ページの表Ⅰ、表Ⅱにある通りです。赤字基調を脱しつつあるとはいえ、まだまだ不安定な状態です。財政基盤を安定させ、より幅広い活動を展開できるよう、会員の皆様のご協力をお願いいたします。今回納入をお願いするのは、2018年度の会費2,000円です。次の方は、納入していただく必要はございません。

- ① 特別会員の先生方
- ② かつて終身会費を納入された方

①②の方には、会費払込取扱票が同封されていません。万一同封されていたら間違いですのでご容赦ください。事務局までその旨ご連絡いただくと助かります。

<会費納入の方法>

● ゆうちょ銀行、コンビニ

同封の払込取扱票をお使いください。

● 銀行振り込み

ジャパンネット銀行 すすめ支店(支店番号002)  
 普通預金 6271398  
 (口座名義) トウキョウトリツダイガクフゾク  
 コウトウガッコウドウソウカイ

ATMから振り込む場合およびネットバンキングご利用の場合は、振り込み人の名前を修正して、名前の前に「卒業期・クラス」を入れてください。

(例=13Aトリツタロウ)

● ホームページをリニューアル

この4月1日に2011年に開設して以来、7年ぶりにホームページをリニューアルいたしました。同窓会のホームページは、同窓会会員の皆さんを繋ぐ手段が年1回発行されるこの会報だけではなんとも淋しいという意見に対して、それを補う手段とし開設されたものです。この7年間、その役目のある程度果たしてきたと思っておりますが、タイムリーな情報提供や、一層の会員相互間の交流を図ることに課題が残っていました。

今回、旧ホームページの情報を再整理し、会報の記事などを活用して、親しみ易くアクセスし易いものにいたしました。今後、更なる情報の充実を図ります。会員の皆さんに、クラス会や同窓会の開催連絡などにご活用いただければ幸いです。ホームページへの掲載依頼、ご意見・ご要望はホームページのContact usボタンをクリックしてお寄せください。

ホームページアドレス：<http://www.yagumokai.org>

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます

校長	井出 弘之 先生		2015年11月
美術	大須賀 虎光 先生		2016年2月12日
英語	早乙女 忠 先生		2016年4月13日
美術	西村 正次 先生		2013年4月
期・組	旧姓		
1B	中西 安	植松	2018年1月20日
3B	武子 康平		2016年9月
3C	久場 俊蔵		2017年10月25日
3C	平塚 昭隆		2017年1月5日
3C	鹿島 良子		2017年1月23日
4A	松本 尚治		2015年9月
4B	藤井三樹夫		2017年6月
6A	市橋 恭二		2016年5月24日
6C	野村 研二		2017年11月9日
7A	河村 泰治		2017年5月17日
9A	入江まり子	河俣	2017年12月2日
9C	岩田 英明		2017年11月
9C	長沢 孝廣		2017年8月9日
11A	森下 一期		2016年3月
12C	八巻 邦次		2012年
13A	青木 和則		2017年1月1日
13D	石黒 直樹		
14B	矢島 正康		2017年11月15日
14B	綿引 正義		
16E	田川 昌宏		2018年3月2日
16F	真崎 弘二		
16G	市村 崇子		2017年2月19日
17B	平林 和幸		2014年1月20日
18F	北原 久利		2017年11月15日
25E	蕪沢 操子	平島	2016年10月21日
25F	田村みさ子		2017年6月15日
26B	北出 伸三		
26D	村田富美子	大岡	2018年1月1日
29A	大工原 徹		2016年12月25日
29C	松田 泉		2016年7月4日
38E	奥田有希子	鎌田	2017年5月1日
42F	柴田 敦司		

同窓会事務局に連絡のあった方のみ掲載しています

同窓会への連絡方法

住所の変更、訃報、その他の同窓会への連絡は下記のいずれかの方法でお願いします。

● インターネット

同窓会のホームページの右下に「Contact us」ボタンがあります。クリックするとメールフォームが出ます。

● 郵送

〒152-0023 東京都目黒区八雲1-1-2  
 都立桜修館中等教育学校内  
 都立大学附属高等学校同窓会

または

〒152-0002 東京都目黒区目黒本町4-23-6  
 荻戸方 都立大学附属高等学校同窓会事務局

編集後記



今年3年に一度の定期総会が開かれる年です。1面にそのご案内を載せていますが、ぜひご参加ください。

今年の記念祭は、まさに記念すべき第70回です。9月8日(土)、9日(日)の両日、例年通り同窓会ルームを出展し、9日の13時から学生歌や記念祭歌を歌うイベントを行います。お待ちしております。

桜修館の金田校長先生が定年退職されました。4年間にわたり大変お世話になりました。心からお礼申し上げます。新校長の鳥屋尾先生には、どうぞよろしくと申し上げます。

長年にわたり同窓会活動の中心的役割を果たしてきた北原久利常務理事が、昨年11月に亡くなりました。ご冥福をお祈りいたします。

来年の会報発行予定は、今回と同じく6月末です。4月末締め切りで原稿お待ちしています。

同窓会報編集委員会

- 8期 須田 大春
- 13期 赤戸 迪武
- 14期 川田 秀文
- 21期 根岸 之夫
- 26期 嶋津 和行
- 35期 石川 恵子
- 43期 下村 聡美